

■ 壬生町のバランスシート(平成17年度) 平成18年3月31日現在

借方

(単位:円)

[資産の部]

1.有形固定資産 (全体) (1人当たり)

(1) 総務費	7億 1,197万	17,891
(2) 民生費	9億 6,399万	24,224
(3) 衛生費	41億 5,520万	104,415
(4) 労働費	1,630万	410
(5) 農林水産業費	7億 1,912万	18,070
(6) 商工費	14億 8,689万	37,364
(7) 土木費	199億 7,847万	502,034
(8) 消防費	2億 33万	5,034
(9) 教育費	132億 9,128万	333,994
(10) その他	2,466万	620

有形固定資産合計 415億 4,821万 1,044,056

(うち土地) 137億 1,027万 344,522

2.投資等 (全体) (1人当たり)

(1) 投資及び出資金	4億 8,307万	12,139
(2) 貸付金	9,316万	2,341
(3) 基金	26億 3,512万	66,217
(4) 退職手当 組合積立金	5億 7,964万	14,566

貸方

(単位:円)

[負債の部]

1.固定負債 (全体) (1人当たり)

(1) 地方債	65億 960万	163,578
(2) 債務負担行為	0万	0
(3) 退職給与引当金	22億 4,902万	56,515

固定負債合計 87億 5,862万 220,093

2.流動負債 (全体) (1人当たり)

(1) 翌年度償還 予定額	7億 4,885万	18,818
(2) 翌年度繰上 充用金	0万	0

流動負債合計 7億 4,885万 18,818

負債合計 95億 747万 238,911

[正味資産の部]

1.国庫支出金 (全体) (1人当たり)
42億 9,664万 107,969

投資等合計	37 億 9,099 万	95,263
<hr/>		
3. 流動資産	(全体)	(1 人当たり)
(1) 現金・預金	19 億 9,926 万	50,239
(2) 未収金	7 億 9,950 万	20,090
<hr/>		
流動資産合計	27 億 9,876 万	70,329
<hr/>		
資産合計	<u>481 億 3,796 万</u>	<u>1,209,648</u>

2. 都道府県 支出金	9 億 9,538 万	25,013
3. 一般財源等	333 億 3,847 万	837,755
<hr/>		
正味資産合計	386 億 3,049 万	970,737
<hr/>		
負債・正味資産 合計	<u>481 億 3,796 万</u>	<u>1,209,648</u>

※債務負担行為に関する情報

- ①物件購入に係るもの 0 円
- ②債務保証又は損失補償に係るもの 0 円
- ③利子補給に係るもの 313 万円

■ バランスシートからわかること

平成18年3月31日現在で、壬生町の総資産は合計で約481億円となりました。一方、負債は全体で約95億円、その差である正味資産は約386億円です。

1. [資産の部] の状況

資産の部では、有形固定資産(建物、土地等)が約415億円で資産全体の約86%を占め、残りが基金(積立金)、貸付金、未収金などで約66億円となっています。

有形固定資産を行政目的別に見ると、道路、公園などの土木費が約200億円(48%)と最も多く、次に小中学校や公民館、図書館などの建設事業費を含む教育費が約133億円(32%)、清掃センター建設や最終処分場建設などを含む衛生費が約42億円(10%)となっています。

2. [負債の部] の状況

負債の部では、町債(借入金)の償還が固定負債、流動負債を合わせて約73億円で負債全体の約76%退職給与引当金が約22億円で約24%の割合となっております。

3. [正味資産] の部の状況

正味資産の部では、町が保有している資産のうち、町民の皆様からの税金等により形成された一般財源等は約333億円で、正味資産全体の約86%にあたります。また、町有資産のうち国・県支出金により形成された金額は約53億円となっております。

■ バランスシートを活用した財務分析

● 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に、今までの世代の負担によって形成された社会資本の額を指しています。他方、負債は将来の世代の負担によって形成された社会資本の額を指します。したがって、その依存割合が世代間負担の指標となります。

正味資産合計 / 有形固定資産合計 → 38,630 百万円 / 41,548 百万円 = 93.0%

(これまでの世代による社会資本形成の比率、高いほど良い)

負債合計 / 有形固定資産合計 → 9,507 百万円 / 41,548 百万円 = 22.9%

(後世代による社会資本形成の比率、低い程後世代の負担が少ない)

● 予算額対資本比率

歳入総額に対する資産の比率で、資産形成のために何年分の歳入が充当されたかを示すものです。

資産合計 / 歳入合計 → 48,138 百万円 / 10,369 百万円 = 4.64 年分

● 正味資本比率

企業会計で使用される自己資本比率に相当し、この比率は保有する総資産のうち返済義務を負わない部分がどの程度あるのかということを示す指標です。

正味資産合計 / 負債・正味資産合計 → 38,630 百万円 / 48,138 百万円 = 80.2%